

令和7年度 第1回近江八幡市水道事業運営委員会 会議記録

開催日時 令和7年8月19日(火) 13:30～15:15
 開催場所 近江八幡市水道事業所 3階AB会議室
 出席者 ◎西谷委員長、○根来副委員長、山下委員、北川委員、
 小椋委員、坂上委員、中田委員、田中委員、伊関委員
 欠席者 なし
 事務局 【水道事業所】中西所長
 【上下水道施設課】苗村課長
 【上下水道総務課】大野課長、
 (経営G) 友岡課長補佐、福島主査
 (料金・総務G) 井狩課長補佐、藤主事

< 内 容 >

委員長	1. 開会 水道事業所長挨拶 2. 委員長挨拶 これからどのように経営していくのかということについて、市民の皆様方も踏まえた上で、意見形成をしていきたい。埼玉県の下水道管が破裂し、尊い命が犠牲になった事件があった。埼玉でも同様にこのような委員会があり、参加者は、もうちょっと質問してもよかった、もうちょっと何か役割を果たせたのではないかと考えているのではないかと思います。皆様の意見はすごく重要なので、ぜひ聞かせていただければと思う。今回は経営戦略ということで、長期にわたることになるので、次世代の負担なども考えながら、議論していければと思う。 3. 令和7年度 委員紹介・委員会運営について 委員及び事務局が各自自己紹介 委員会運営について事務局より説明 4. 諮問事項 近江八幡市水道経営ビジョン（水道事業経営戦略）の改定について 所長 近江八幡市水道事業運営委員会規定第2条に基づき、近江八幡市水道経営ビジョン（水道事業経営戦略）の改定について意見を求める。
------------	---

委員長	5. 議事 1 つ目の議事について事務局より説明をいただきたい。
事務局	(1) 水道経営ビジョン（経営戦略）の改定について （令和6年度決算概要・経営状況等について） 【資料1】に基づき説明。
委員長	基本的なところを確認しておく、冊子として経営ビジョンを作成しており、そこに皆様の議論を盛り込んだ形で作っていききたいということである。水道の現状の問題認識や将来課題を書いた上で、今後こうすべきという提案も含めて議会に提出することになる。25ページに料金改定の必要性について検討したいとあるように、県内かなり多くの市町ですでに料金改定が終了しているところもあるが、そういうことも含めて書き込んでいくことになる。
委員	8月4日頃の新聞にて、国土交通省から緊急の管路更新を5年以内に、他の管路を10年以内に更新するよう要請されているが、そのような点も含まれるのか。
委員長	水道に関して、厚生労働省から国土交通省に所管が移った。国土交通省は成果を求めてくる省庁であり、矢継ぎ早に施策を出されており、今のも最近出されたものと認識しているが、事務局はいかがか。
事務局	京都市国道1号線での事故を受けての通達であったかと認識している。対象となる管路は铸铁管であり、铸铁管を早期に更新するようというところで、現在、市内に铸铁管が若干残っているが、今年度の更新事業を最後に、対象となる管路はなくなる認識である。
委員長	近江八幡市は自分たちで水を作っている分と県から購入している分の2つがある。その県からの受水費が値上げする可能性があると書かれているが、伊関委員どうであるか。
委員	昨今の物価上昇による電気代や薬品費の上昇、老朽化・耐震化等の影響があり、県としても値上げをさせていただきたいところである。

委員長	これら値上げも踏まえた上で、将来について考えていかなければならないというところである。
委員	市内に市の管路と県の管路がめぐっているのであれば、更新費等を考えると、県水を受水せず、自前の水だけで賄えないのか。
事務局	現在、約 63% は県水で賄っており、県水がなくなれば、市民に水道を届けられなくなる。そのため、県の単価が上がれば、経営も厳しくなる。
委員	岩倉は地下水をくみ上げて浄水していると思うが、地下水を利用したミネラルウォーターの販売や災害時の備蓄用としての保管等は考えないのか。
事務局	現状、岩倉浄水場の水だけでも長福寺配水池は賄えてない状況であり、難しいとことである。また、配水池や緊急遮断弁の整備をしているので、災害時でも水が使えるような体制を整えている。
委員長	ボトルウォーターを作られている自治体もあるが、かなり費用と労力がかかる。近江八幡市としては、やるにしても、水量的に余力がないといったところである。
委員長	資料について、いくつか指摘したい。9 ページの財源について、上にも下にも「市費（市税）」とあり、違いがわからない。基準内と基準外の違いかと思うが、わかるように記載されたい。12 ページの収益的収支に収益と費用と書かれており、収支になっていない。また、実際の現金流出を伴わない支出については、直接補填財源へ矢印が伸びているが、おそらく前年度末資金を経由していくので、矢印がおかしいのではないか。また、15 ページの未処分利益剰余金について、設定した時期がわかりづらい。19 ページで類似団体平均より良好な水準となっているが、収益性や料金改定を考えると、類似団体の料金水準を考えたほうが良い。
委員長	水道事業運営の現状としては、利益は出ており、収益的収支については費用 3 年分くらいの現金は持っている。ただ、将来的には物価上昇、人口減少、施設の耐震化等の影響を受け、不安は残るといったと

	ころである。
副委員長	ボトルウォーターの導入検討については、私も京都市でやってきたが、ボトルウォーターの水質基準は水道水に比べてかなり緩く、備蓄するにも1年ほどしかもたない。これを長期間備蓄できるようにしようとすると、設備投資等、かなり費用がかかる。ただ、先ほど意見が出たように、貴重な地下水の水源があり、これで備蓄水を作るとするのは検討に値すると考える。 また、今回の話の中で、自己水の浄水に係る費用が大幅に上がるというような話はなかったが、このことについても考えていただきたい。最近の気候変動等により、琵琶湖の水のPHが上昇傾向にあり、従来の処理方法では処理しきれなくなっている。原水のPHを下げる施設を導入するとなると、建設改良費は大きく上がる。
事務局	PHについての課題認識はあまりなかった。牧浄水場については、アオコによるカビ臭は大変課題と認識している。たちまち沖島浄水場がかなり老朽化しており、施設規模も含めて検討している状況である。
委員	18ページについて、管路更新率が令和5年は0.8%に対して、令和6年度は0.2%となっている。今後、経費の上昇が考えられるため、なるべく早期に着手したほうが良いと思うが、なぜここまで減少しているのか。
事務局	管路更新率については、今後増加の傾向となる。ただ、決算の関係上、当年度に予定していた事業が次年度に繰り越された時、次年度に丸々計上されるため、当年度は少なく、次年度は多くなるというように、でこぼこなデータとなる。事業所としては過去に比べ、管路更新に多く予算をつけて実施しているので、管路更新率も伸びていく認識である。
委員長	議会においては数字をもって説明する必要があると思うので、よろしく願いたい。
委員	上水道管の老朽化により、全国で漏水が多発している。馬淵学区においても、昨年2か所で発生した。工事計画の明示と計画の前倒しを

	お願いしたい。
事務局	基幹管路の耐震化に合わせて、古い老朽管の更新作業も行っているところであるので、ご理解いただきたい。
委員長	近江八幡市では、このような優先順位で管路の更新工事を進めていますというもの次回提示していただければと思う。
事務局	(2) 水道事業に係る利用者意識調査結果について 【資料2】に基づき説明。
委員長	大体のアンケートのところについては、特段大きな特徴が出ているようなところはないかと思う。次回議論する際に、アンケートの内容がしっかりと反映されているのか、チェックしていただければと思う。
副委員長	今回の報告の中で、給水原価が安いことがわかった。1 m³の水を作るのに、1 6 6 円しかかかっていない。つまり、ペットボトル1本の水を買う値段で水道水の場合は1, 0 0 0 L買うことができる。このように非常に安く運営しているということをアピールするなど、アピールの仕方を考えていただければと思う。
副委員長	6. 閉会 委員の皆様には、わからないことは積極的に質問をしてもらえればと思う。それによって、水道事業体もどのように説明すべきかと、お互いに勉強になる。 従来の水道事業のやり方はどんどん変わってきている。水源の水の水質が変化し、従来の処理では十分でなくなってきている。また、管路更新においても、過去のように夜間に周辺を断水して工事をするということも難しくなってきている。このような状況において、市も苦労しながら対応されていると思うが、その対応についてわからないことがあれば、市民の皆様は積極的に聞いていただければと思う。